

第1回資本ストック検討委員会（議事要旨）

1.日時 平成16年12月24日（金）15：00～16：40

2.場所 中央合同庁舎第4号館共用643会議室(643号室)

3.出席者

（ストック検討委員会委員）

高木委員長、井出委員、時子山委員、中村委員、宮川委員
（経済社会総合研究所）

香西経済社会総合研究所長、大守経済社会総合研究所次長、荒井総括政策研究官、法専総括政策研究官、飛田国民経済計算部長、大貫企画調査課長、長谷川国民支出課長、甘利国民生産課長、百瀬分配所得課長、二上国民資産課長、川島価格分析課長、佐藤地域・特定勘定課長

4.議事

(1)委員紹介

(2)会議の体制について

(3)会議の公開について

(4)資本ストック検討委員会の目的及び検討課題について

5.配布資料

(1)国民経済計算調査会議 資本ストック検討委員会 委員名簿

(2)国民経済計算調査会議の組織図

(3)国民経済計算調査会議の公開について

(4)資本ストック検討委員会の目的及び検討課題について

(5)今後の検討スケジュール及び体制

参考1 統計行政の新たな展開方向

平成15年6月27日 各府省統計主管部局長等会議

- 参考 2 統計の利用拡大に向けて－景気関連統計を中心として－
2004年11月16日 社団法人 日本経済団体連合会
- 参考 3 93SNA マニュアルにおける資本ストックの価値額カテゴリーと評価について（抜粋）
- 参考 4 93SNA マニュアルにおける固定資本減耗の概念定義と推計方法について（抜粋）
- 参考 5 ソフトウェア投資の推計（未定稿）（要旨）
- 参考 6 民間企業資本ストック実態調査（概要）
- 参考 7 現行の土地資産額推計について
- 参考 8-1 有形固定資産推計の概略図
- 参考 8-2 民間企業資本ストックの概略図

6. 議事概要

- (1) 冒頭、香西経済社会総合研究所長より挨拶。
- (2) 委員紹介。
- (3) 会議の体制、公開について。資料 2、3 に基づき事務局より説明。
以下のような発言があった。
- ・ 資料 3 「会議終了後一定期間を経過した後に」の一定期間とは。
→ 約 1 か月
- (4) 目的及び検討課題について。資料 4、5 に基づき事務局より説明。
以下のような発言があった。
- ・ 資料 4-3 「概念」は、純か粗か。
→ 「純か粗か」についても含めて概念を検討する。
 - ・ 概念については、他国との比較が必要。資本ストック推計は所有者主義か使用者主義のどちらか
→ SNA マニュアルでは所有者主義であるが、我が国の SNA 推計はこれまでの産業連関表ベースに従ってきた為、ストック推計も使用者主義を基本としている。
 - ・ 保有しているだけの土地の資産評価は、公示価格は良いが現実的ではない。

- ・稼働率、質を捉えられれば良い。
- ・資料4－3「細分化」では、ITのハードウェアを捉えるのか。
→その予定。
- ・国富調査の固定計数を洗い出し、実態調査等を利用してはどうか。
- ・公的を含めた資本ストック速報を検討してほしい。
→マトリックスを別に作成する方法がある。

以上

※なお、本議事要旨は速報版のため事後修正の可能性があります。